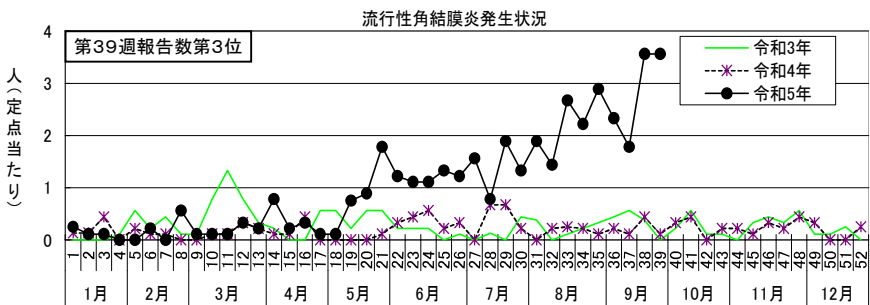
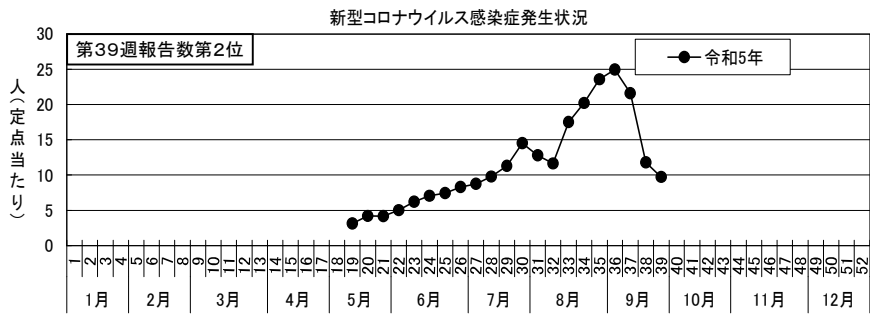
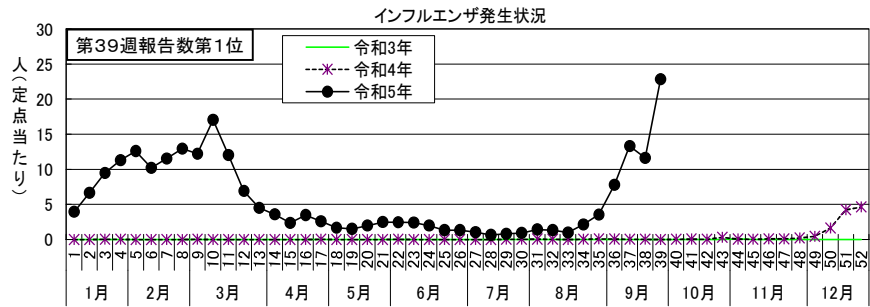


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年9月25日（月）～令和5年10月1日（日）〔令和5年第39週〕の感染症発生状況

第39週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 新型コロナウイルス感染症 3) 流行性角結膜炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は22.85人と前週（11.64人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は9.72人と前週（11.80人）から横ばいでした。
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.56人と前週（3.56人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



高齢者を対象とした定期的インフルエンザ予防接種について

川崎市では、今年も令和5年10月1日から、川崎市内に住民登録がある高齢者の方を対象に定期的インフルエンザ予防接種を開始しました。

インフルエンザは、新型コロナウイルス感染症の流行開始以降、報告数が激減していましたが、昨冬は3シーズンぶりに流行がみられました。その後報告数は一旦減少したものの完全に流行が終息することはなく、9月に入ってから再び報告数が急増し、流行発生注意報が発令されるなど、すでに大きな流行がみられています。

今後さらに流行が拡大する可能性もありますので、接種対象の方は可能な限り早めの接種を御検討ください。

高齢者を対象とした定期的インフルエンザ予防接種

◆対象者

川崎市内に住民登録のある方で、次の①又は②にあてはまる方

- ①接種日に65歳以上の方
- ②接種日に60歳～65歳未満の方
 - ・心臓、腎臓、呼吸器の機能障害（障害1級程度）のある方
 - ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（障害1級程度）のある方

◆実施期間と回数

令和5年10月1日～令和6年1月31日の間に1回

◆接種を受けられる場所

川崎市予防接種個別協力医療機関（市が指定した市内約700か所の医療機関）

◆自己負担金

2,300円（税込）

*詳細は川崎市ホームページをご覧ください。

